

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 国語 出題のねらい等

	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
①	1	(1)		話すこと・聞くこと	2年	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること	話の構成や展開などに注意して、話し手の意図をとらえること。		○				○	
②		(2)		話すこと・聞くこと	2年	ウ 目的や状況に応じて資料等を効果的に活用して話すこと	説明の際に図を示したことの効果をとらえること。		○				○	
③		(3)		話すこと・聞くこと	2年	イ 異なる立場を想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話すこと	話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、立場を明確にして、意見を述べること。		○					○
④				話すこと・聞くこと	2年	(関心・意欲・態度)	自分の考えをまとめ、伝えたいことを的確に話そうとすること。	○						○
⑤	2	(1)	①	伝統的な言語文化と国語の特質		「へいい」と読むこと	小学校3年配当の「平」と小学校5年配当の「易」を組み合わせた「平易」を「へいい」と正しく読むこと。					○	○	
			②	伝統的な言語文化と国語の特質		「つい(やす)」と読むこと	小学4年生配当の「費」の中学2年生までに学習する新出音訓である「つい(やす)」と正しく読むこと。					○	○	
			③	伝統的な言語文化と国語の特質		「と(る)」と読むこと	中学2年生までに学習する「執る」を「と(る)」を正しく読むこと。					○	○	
⑥		(2)	①	伝統的な言語文化と国語の特質		「土壌」と書くこと	小学1年生配当の「土」と中学2年生までに学習する「壤」を組み合わせた「土壌」を正しく書くこと。					○	○	
			②	伝統的な言語文化と国語の特質		「焦点」と書くこと	中学2年生までに学習する「焦」と小学2年生配当の「点」を組み合わせた「焦点」を正しく書くこと。					○	○	
			③	伝統的な言語文化と国語の特質		「浴(びる)」と書くこと	小学4年生配当の「浴」を正しく書くこと。					○	○	
⑦	(3)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)ア(ア) 作品の特徴を生かして朗読すること	現代語訳を手がかりに意味をとらえ「来ぬ」を「き(ぬ)」と読むこと。					○	○		
⑧		(4)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)イ(イ) 類義語と対義語について理解すること	同訓異字「固い」「堅い」「硬い」の意味の違いを理解し、対義語の使い分けができること。					○	○	

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。

平成29年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 国語 出題のねらい等

	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点					問題類別	
								国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	知識	活用
⑨		(5)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)イ(エ) 単語の類別について理解すること	単語「ある」をその性質から、動詞と連体詞に正しく分類すること。					○	○	
⑩		(6)		伝統的な言語文化と国語の特質	2年	(1)イ(オ) 相手や目的に応じて文章の形態があることについて理解すること	手紙での後付けの書き方を理解していること。					○	○	
⑪	3	(1)		読むこと	1年	ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること	文脈上から「握手」が「仲直りすること」の意味であることをとらえていること。				○		○	
⑫		(2)		読むこと	2年	イ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること	主人公「僕」が、はっきりと思い出すことが出来る理由を「僕」の心情に沿って読み取ること。				○		○	
⑬		(3)		読むこと	2年	ウ 文章の表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること	文末の一文を書き加えることの効果について、登場人物の心情と関連させて自分の考えをまとめること。				○			○
⑭				読むこと	2年	(関心・意欲・態度)	語句の意味や心情を表す語句などに注意して読もうとすること。	○						○
⑮	4	(1)		読むこと	2年	エ 文章に表れているものの考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つこと	資料1に表された人工知能に対する考え方を読み取ること。				○			○
⑯		(2)		読むこと	1年	イ 事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約すること	資料2と資料3を併せて読み、人工知能の能力と人間の能力についての筆者の考えを読み取ること。				○			○
⑰		(3)		書くこと	1年	イ 自分の立場や伝えたい事実を明確にして、文章の構成を工夫すること	自分の考えがより伝わるように、文章の構成を工夫していることをとらえること。			○			○	
⑱		(4)		書くこと	2年	エ 書いた文章を読み返し、語句の使い方に注意して分かりやすい文章にすること	文のつながりを意識して、分かりやすく適切な言葉で表現すること。			○				○
⑲		(5)		書くこと	2年	ウ 事実や事柄、意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書くこと	考えの根拠となる事柄を明らかにし、自分の生活を振り返って、自分の考えを分かりやすく文章に書くこと。			○				○
⑳				書くこと	2年	(関心・意欲・態度)	条件に合わせて自分の考えを書こうとすること。	○						○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。